

あぶた福祉会

第31号

30周年を迎えて

〜その歴史に思いを馳せて〜

ディセンターいちばんぼし所長

30周年記念事業実行委員長

木村 芳秀

当 法人は平成24年度で法人創立30周年を迎えることになりました。昭和57年9月1日に社会福祉法人設立許可を貰い、同年10月1日に設立となったところであります。

昭和58年4月1日には、精神薄弱者更正施設「清水友愛の里」を開設すると、その後昭和63年12月施設増設、平成元年10月には地域生活援助事業を開始、平成3年4月1日障害者地域共同作業所「あすなろ」開設、同年8月生活訓練棟新築し、平成4年4月1日通所部を開設しました。引続き平成13年4月1日受託経営を行い、平成15年9月1日知的障害者通所授産施設「あすなろ」開設、平成17年4月1日あすなろ「入江分場」・「いちばんぼし分場」開設、平成18年10月1日「友愛の里相談支援センター」

を開設し、「洞爺湖町地域活動支援センター」受託運営も始めました。また障害者自立支援法に基づき、地域生活援助事業（グループホーム11カ所）を共同生活介護及び共同生活援助事業へ移行し、平成19年2月28日友愛の里大規模修繕・拡張工事完了、平成20年10月1日一体型共同生活介護等「地域サポートセンターふれんど」開設、平成21年4月1日障害者自立支援法に基づく新事業体系への移行（障害者支援施設「清水友愛の里」施設入所支援生活介護・就労継続支援B型・短期入所・多機能型障害者福祉サービス事業所「ディセンターあすなろ」生活介護・就労継続B型、多機能型障害者福祉サービス事業所「ディセンターいちばんぼし」生活介護・就労継続B型開設）が行われ、平成23年2月28日には生活訓練棟改修工事完了、同年10月1日共同生活住居「うらら」新設・事業開始と、その時代の状況や利用者のニーズを考

えながら、より良い生活、より良い日中活動の提供、地域生活、働

く場の確保を強く願い、職員ともども日々奮闘してまいりました。

時代の移り変わりとともに、障害者の置かれている立場、現状は大きく変化を遂げてまいりました。近年では、平成17年に障害者自立支援法が、障害者の福祉サービスの「一元化」、障害者がもっと「働ける社会」などの狙いの下、立案されました。

しかし、障害者に対する負担が大きく、安心した生活が出来ない人が多く出てしまい、現在は総合支援法として法案の改正がなされていますが、現状はあまり代わり映えのしない法案になりそうです。

今後法人としては、社会状況の変化をいち早く捉え、利用者の声を聞きながら、安心して生活が送れるよう、迷うことなく事業展開していきます。

今後とも当法人に対し、深いご理解・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

お花の即売会の

お知らせ

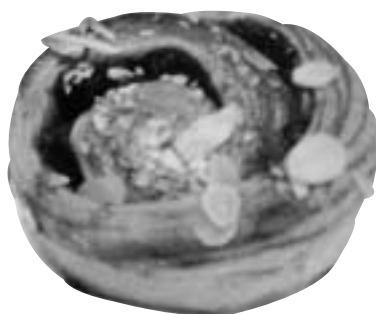
緑化事業班から

今年度もお花の販売を行います。4月中旬から5月中旬まで、パンジー・ビオラを中心とした春花を町内のスーパー、道の駅で販売していきます。

5月中旬からは、ベコニア・マリーゴールドなどの花壇花と鉢花の販売も秋頃まで展開していきます。ご自宅のお庭を季節に合わせた花々で彩ってみてはいかがでしょうか。

喫茶あるそ〜れか

うずまきベリーパンを紹介いたします。名前の通りナルト状にぐるぐると巻いたデニッシュ生地で作ったパンです。層の間には、



レースン・克蘭ベリー・ブルーベリー・くるみがたくさん入っています。そして香りの良いシナモンシュガーが全体をまといまわっています。表面にはスライスアーモンドがたっぷりとかかっており、食感も良く食べ応えのあるパンです。中に入っているフルーツは、ラム酒にじっくり漬け込んだものを使用していますので、口当たりはしっとりしています。ぜひ一度ご賞味ください。